



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーカイ

コード番号 9729 URL <http://www.tokai-corp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野木 孝二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 堀江 範人 (TEL) 058(263)-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	65,215	4.9	4,787	△8.5	4,996	△8.5	2,721	26.4
24年3月期第3四半期	62,170	3.2	5,235	7.2	5,459	5.9	2,153	△25.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,913百万円(29.3%) 24年3月期第3四半期 2,253百万円(△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	152.57	152.28
24年3月期第3四半期	120.75	120.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	61,768	38,607	62.1
24年3月期	61,725	36,192	58.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 38,362百万円 24年3月期 35,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,061	4.3	7,226	0.2	7,484	0.2	4,106	18.6	230.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	18,020,673株	24年3月期	18,020,673株
25年3月期3Q	172,262株	24年3月期	190,208株
25年3月期3Q	17,835,845株	24年3月期3Q	17,830,685株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要により緩やかな回復基調にあったものの、長期化する欧州の債務危機問題、新興国の景気減速感に加え、消費税増税等、新たに発生した懸念事項により、先行き不透明な状況が続きました。

また、当社グループの主要事業が属するヘルスケア業界におきましては、平成24年4月に診療報酬・介護報酬の同時改定が実施され、経営環境に変化が生じております。

このような状況の中、当社グループは、新規出店、営業体制の強化、さらには、新規事業への参入により、事業規模の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、「健康生活サービス」「調剤サービス」「環境サービス」の主要セグメント全てにおいて前年同四半期比増収を達成することができました。

「健康生活サービス」では、医療機関からのアウトソーシングを請け負う病院関連事業が、主力であるレンタル商品の拡販、大型新規案件の本格稼働により増収となり、介護用品レンタルを行うシルバー事業においても、当社グループ内の同事業統合及び新規出店による営業体制の強化により増収となったことから、同セグメントは増収を達成することができました。また、「調剤サービス」は、9店舗の新設で104店舗の事業展開となり、処方箋受付回数の増加、処方箋単価の上昇によって増収を達成することができました。さらに「環境サービス」は、リースキン事業が増収となったことから、同セグメントも増収を達成することができました。

利益面につきましては、売上増加に伴うレンタル資材購入費等の増加、四国地方における病院リネン新工場稼働に伴う費用の発生、薬学6年制移行後初の新規採用に注力したことによる労務費の増加、さらに、薬価改定の影響も見込まれることから、営業利益・経常利益が前年同四半期比減益となりました。一方、四半期純利益につきましては、税金費用の減少により前年同四半期比増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高652億15百万円（前年同四半期比30億44百万円増、4.9%増）、営業利益47億87百万円（前年同四半期比4億47百万円減、8.5%減）、経常利益49億96百万円（前年同四半期比4億62百万円減、8.5%減）、四半期純利益27億21百万円（前年同四半期比5億68百万円増、26.4%増）となりました。

## [セグメント別状況]

## ① 健康生活サービス

病院関連事業における大型新規案件の本格稼働による増収に加え、シルバー事業におけるレンタル売上の堅調な伸びにより、「健康生活サービス」は前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、売上増加に伴うレンタル資材購入費等の増加、四国地方における病院リネン新工場稼働に伴う費用の発生により、前年同四半期比減益となりました。

売上高	335億 9百万円	(前年同四半期比 7.1%増、	22億33百万円増)
営業利益	29億30百万円	(前年同四半期比 4.1%減、	1億24百万円減)

## ② 調剤サービス

当第3四半期9店舗、前期3店舗の新規出店による処方箋受付回数の増加及び処方箋単価の上昇により、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、薬学6年制移行後初の新規採用に注力したことによる労務費の増加に加え、薬価改定の影響も見込まれることから、前年同四半期比減益となりました。

売上高	241億13百万円	(前年同四半期比 2.6%増、 6億円増)
営業利益	23億74百万円	(前年同四半期比16.9%減、 4億84百万円減)

## ③ 環境サービス

リースキン事業において、東日本大震災後の需要回復、積極的な新商品の投入により、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う仕入等原価の増加はあるものの、固定費の圧縮効果、また、前年には東日本大震災で被災したリースキンフランチャイジーへの支援費用があったことから、前年同四半期比増益となりました。

売上高	74億66百万円	(前年同四半期比 3.2%増、 2億34百万円増)
営業利益	4億74百万円	(前年同四半期比37.7%増、 1億29百万円増)

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は617億68百万円(前連結会計年度末比42百万円増)、負債は231億60百万円(前連結会計年度末比23億72百万円減)となりました。純資産は386億7百万円(前連結会計年度末比24億14百万円増)、自己資本比率は62.1%(前連結会計年度末比3.8ポイント増)となりました。このうち、総資産の増加につきましては、現金及び預金が34億96百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が6億62百万円、有形固定資産が19億72百万円並びに投資有価証券が9億51百万円増加したことなどによるものであります。負債の減少につきましては、支払手形及び買掛金が9億67百万円増加したものの、未払法人税等が23億93百万円及び借入金が7億68百万円減少したことなどによるものであります。また、純資産の増加につきましては、主に四半期純利益の計上等により利益剰余金が21億86百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現段階で入手可能な資料に基づき平成25年3月期通期の連結業績予想を検討した結果、業績予想に対して大幅な乖離は生じておらず、順調に推移しているため、平成24年5月14日に発表の業績予想を踏襲いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,760	11,263
受取手形及び売掛金	11,924	12,586
有価証券	1,200	600
たな卸資産	2,834	3,454
繰延税金資産	1,101	624
その他	402	1,057
貸倒引当金	△50	△64
流動資産合計	32,172	29,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,459	10,454
機械装置及び運搬具(純額)	1,731	2,349
土地	8,704	8,704
その他(純額)	2,910	3,270
有形固定資産合計	22,806	24,779
無形固定資産		
のれん	237	161
その他	800	771
無形固定資産合計	1,037	933
投資その他の資産		
投資有価証券	2,685	3,636
繰延税金資産	890	762
その他	2,199	2,210
貸倒引当金	△66	△76
投資その他の資産合計	5,708	6,533
固定資産合計	29,552	32,246
資産合計	61,725	61,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,435	10,402
短期借入金	3,059	2,622
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	2,492	98
賞与引当金	1,305	649
役員賞与引当金	76	61
その他	3,969	4,110
流動負債合計	20,438	18,044
固定負債		
社債	350	300
長期借入金	1,310	980
繰延税金負債	33	31
退職給付引当金	1,390	1,356
役員退職慰労引当金	277	282
その他	1,731	2,166
固定負債合計	5,094	5,115
負債合計	25,532	23,160

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,662	4,669
利益剰余金	23,273	25,460
自己株式	△207	△187
株主資本合計	35,837	38,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	319
繰延ヘッジ損益	△9	△7
その他の包括利益累計額合計	126	311
新株予約権	30	39
少数株主持分	198	205
純資産合計	36,192	38,607
負債純資産合計	61,725	61,768



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	62,170	65,215
売上原価	45,818	49,145
売上総利益	16,352	16,070
販売費及び一般管理費	11,117	11,282
営業利益	5,235	4,787
営業外収益		
受取利息	19	20
受取配当金	53	55
保険解約返戻金	85	—
その他	185	234
営業外収益合計	343	309
営業外費用		
支払利息	89	63
その他	29	36
営業外費用合計	119	100
経常利益	5,459	4,996
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券償還益	7	—
その他	0	11
特別利益合計	9	12
特別損失		
固定資産除却損	15	111
投資有価証券評価損	198	163
その他	9	8
特別損失合計	223	283
税金等調整前四半期純利益	5,245	4,725
法人税、住民税及び事業税	1,864	1,478
法人税等調整額	1,216	518
法人税等合計	3,081	1,997
少数株主損益調整前四半期純利益	2,164	2,728
少数株主利益	11	6
四半期純利益	2,153	2,721

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,164	2,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	183
繰延ヘッジ損益	1	2
その他の包括利益合計	89	185
四半期包括利益	2,253	2,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,242	2,906
少数株主に係る四半期包括利益	11	6

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,275	23,513	7,232	62,021	149	62,170	—	62,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	0	352	378	2	381	△381	—
計	31,300	23,513	7,585	62,399	152	62,552	△381	62,170
セグメント利益	3,054	2,859	344	6,258	12	6,271	△1,035	5,235

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△1,035百万円には、セグメント間取引消去38百万円、のれんの償却額3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,077百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,509	24,113	7,466	65,089	125	65,215	—	65,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	0	298	324	2	327	△327	—
計	33,534	24,113	7,765	65,414	128	65,542	△327	65,215
セグメント利益	2,930	2,374	474	5,780	4	5,784	△996	4,787

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△996百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,010百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。